

## ◎ 出席停止でない伝染病

\*下の一覧にあげた病気は、出席停止ではありませんが、医師の指示に従い、適切な治療を受けて下さい。

病名	登園基準	主な症状	侵入経路	潜伏期間	伝染期間	予防方法	好発季節	
溶連菌感染症	治療後24時間経て、全身状態がよければ登園可能	扁桃炎などの上気道感染症・皮膚感染症など多彩な症状	飛沫感染	2～4日	治療開始後24時間	うがい 手洗い		
ウイルス性肝炎	A型肝炎	発病初期を過ぎれば感染力は低下する	発熱 頭痛 嘔吐 腹痛 黄疸	経口感染 二次感染	4～7週間	発病初期	手洗い 生ものは避ける	
	B・C型肝炎	出席停止の必要はない	発熱 だるさ 嘔吐 下痢 黄疸	血液感染	40～180日		血液に触れない	
手足口病	発熱や口腔の水疱・炎症のある間は感染する。解熱して元気になれば登園可能	発熱口腔・咽頭に痛みを伴う水疱・炎症、手足の末端や背部に発疹・水疱	飛沫感染	2～7日	症状のある間	手洗い おむつと保育者の消毒	夏	
伝染性紅斑(リンゴ病)	発病に気づいたときは感染力はない	頬の紅斑・手足伸側にレース状紅斑	飛沫感染	17～18日	発疹のでる1～2週間前の数日間		冬～春	
ヘルパンギーナ	感染は発症後2～3日解熱して元気なら登園可能	突然の発熱・咽頭の発疹・水疱・炎症	飛沫感染	2～7日	発病後2～3日間	外出を避ける	夏	
マイコプラズマ感染症	急性期が終わり症状が改善すれば登園可能	ひどくつこい咳	飛沫感染	2～3週間	急性期	マスクをする		
流行性嘔吐下痢症	症状が回復し全身状態が良くなれば登園可能	突然の嘔吐・下痢便が白くなることもある	経口感染 飛沫感染	1～3日	症状がある間		冬	

\*下の一覧にあげた病気は、出席停止の必要はありません。登校しながらの治療が可能です。

アタマジラミ	出席停止の必要はない	頭のかゆみ		1ヶ月程度		タオル・くしの共用をしない	
ミズイボ(伝染性軟属腫)	出席停止・水遊びの禁止の必要はない	体幹・四肢に生じる半球状に隆起し、中心がへこんだいぼ	直接感染 間接感染			ビート版・タオルの共用をしない	
伝染性膿痂疹(とびひ)	出席停止の必要はない	紅斑、膿水疱、びらん痂皮をつくる皮膚感染症	接触感染	2～10日		水泳禁止 皮膚に触れない	夏

# ☆学校保健法の基準により出席停止になるもの

## <第二種学校伝染病>

病名	出席停止期間	主な症状	侵入経路	潜伏期間	伝染期間	予防方法	好発季節
百日咳	特有の咳が消失するまで	のどの発赤 独特な咳	飛沫感染	6～15日	発病後28日	予防接種	夏
麻疹(はしか)	解熱後3日経過するまで	高熱 発疹	飛沫感染	10～12日	発疹のでる5日前～後4日間	予防接種	冬～春
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺の腫脹が消失するまで	耳下腺の腫脹	飛沫感染	14～24日	発病7日前～発病後9日間	予防接種	冬～春
風疹(3日ばしか)	発疹が消失するまで	バラ紅色の発疹リンパ節の腫脹	飛沫感染	14～21日	発疹のでる7日前～後7日間	予防接種	春～夏
水痘(みずぼうそう)	すべての発疹が痂皮化するまで	紅斑 丘疹 水疱 膿疱	飛沫感染	11～20日	発疹のでる1日前～後6・7日間	ワクチン	冬～春
咽頭結膜炎(プール熱)	主要症状消褪後2日を経過するまで	発熱 咽頭炎 結膜炎	飛沫感染	5～7日	発病後2～3週間	水泳後、流水で洗う 水泳禁止	夏～秋
結核	伝染の恐れがなくなるまで	肺に病変を起こすことの多い全身性感染症	飛沫感染	1～2日		BCG接種X線による 早期発見	なし

## <第三種学校伝染病>

腸管出血性大腸菌感染症	症状により医師によって伝染の恐れがないと認められるまで	激しい腹痛 下痢 血便	経口感染	4～8日		トイレ消毒 食品の加熱手洗い	春～夏 5月頃
流行性角結膜炎		涙目やに異物感結膜の充血	結膜接触 汚染物	1週間以上	発病後2～3週間	水泳禁止 手洗いタオルを共有しない	春～夏
急性出血性角結膜炎		充血 出血	結膜接触 汚染物	24～36時間	発病後5～7日間	水泳禁止 手洗いタオルを共有しない	夏